

「乳がん術後の標準的放射線治療技術の改善のための後向き観察研究」 へご協力をお願い

ー平成20年4月1日～平成26年3月31日までに当科において乳がん放射線治療を受けられた方へー

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学分野 教授 黒田 昌宏

研究分担者 岡山大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学分野 大学院生 小林 智紀

1. 研究の意義と目的

乳がん術後の放射線治療は、日常診療において標準的な治療として行われています。放射線治療を行う際には、病巣部に適正な線量を投与するとともに、照射野に入る正常臓器への照射線量をできるだけ減らす努力をしています。

今回の研究では、過去に標準的な照射方法で放射線治療をうけられた患者様の放射線照射の状況を、標準的な治療として行う照射方法の別などで比較することにより、今後のよりよい照射方法への改善の可能性を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成20年4月1日～平成26年3月31日に岡山大学病院を受診し、乳がん放射線治療を受けられた患者さま542名

2) 研究期間：

平成26年8月 岡山大学研究倫理審査専門委員会 承認後 ～ 平成28年12月31日

3) 研究方法：

以前治療を受けられた際に用いた放射線治療計画から、治療部位や正常組織の線量データを抽出し、照射方法別などで比較検討する研究です。

本研究は、岡山大学の研究倫理審査専門委員会の承認を得ております。この研究は、ヘルシンキ宣言(2013年版)、疫学研究に関する倫理指針を遵守します。

4) 調査票等：

研究資料には、カルテや放射線治療計画情報から、以下を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除して匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、病理組織データ、手術記録データ、画像データ(X線、CT、MRI)など
- ・放射線治療計画情報(治療部位や正常組織の線量など)

5) 情報の保護：

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護に十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学 教授

氏名：黒田 昌宏

電話：086-235-6873 ファックス：086-235-6873